



平成 22 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社だいこう証券ビジネス
代表者名 代表取締役社長 山 本 晃
(コード番号：8692 東証・大証 第1部)
問合せ先 企画総務部長 金子 文 郎
(電話番号：03-3666-9378)

「基本戦略」アクション・プランの進捗に関するお知らせ（その2）

当社は平成 21 年 10 月 30 日に公表いたしました「基本戦略」アクション・プラン策定に関するお知らせのとおり、平成 22 年 3 月期を「構造改革期」、平成 23 年 3 月期を「収益基盤確立期」、平成 24 年 3 月期を「収益基盤拡大期」とそれぞれ位置づけ、「全社的な経費削減」、「業務体制の効率化」および「サービスの高品質化」の三つを柱として構造改革に向け鋭意取り組んでおります。その進捗につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「構造改革期」の進捗状況について

平成 22 年 3 月期を「構造改革期」と位置づけ、不採算業務の見直し・事務所コストの削減・総額人件費の削減等に取り組む、大幅な費用の削減を見込んでおります。さらに、事業全般において採算性を含め考慮した結果、将来的に投資額の回収が見込めない業務におけるシステム・機器などについては、減損損失を特別損失として平成 22 年 3 月期に計上しており、「構造改革期」としての対応は順調に計画通り遂行いたしました。

これらの施策の実施は平成 23 年 3 月期以降の業績に貢献するものと考えております。

2. 「収益基盤確立期」の対応

平成 22 年 3 月期においてシステム・機器などを減損処理した業務については、根本的にシステム・機器などを見直し、運用コストを削減して業務体制の効率化を実施してまいります。

新たな投資については、「サービスの高品質化」につながるものには積極的に取り組むとともに、外部環境の変化に柔軟に対応可能な体制を構築して業務運営に取り組んでまいります。

アクション・プランの施策のひとつであります、「海外 BPO」の活用については、現在最終の検討段階に入っており、早期の「海外 BPO」稼働を目指してまいります。

また、既にサービスインしております、「D-FINDS（電子文書管理サービス）」や「CLS（間接口座管理サービス）」といった新規業務は順調に拡大しており、同様の「サービスの高付加価値化」につながる業務についても現在準備を進めており、今後も積極的に取り組んでまいります。

3. 今後の見通し

平成 23 年 3 月期の業績に与える影響につきましては、本日別途公表しております「平成 22 年 3 月期決算短信」における平成 23 年 3 月期の連結業績予想に反映しております。

引き続き平成 23 年 3 月期を「収益基盤確立期」としてアクション・プランに基づく各施策を済々と実施してまいります。

以 上